

家畜飼養管理 I

講師名	武田哲・児玉英樹	実務経験等	武田：家畜保健衛生所での勤務経験を活かし、家畜の役割と動向、品種・特性、衛生と病気、繁殖、育種、飼養管理等に関する講義を担当している。 児玉：畜産研究所での獣医師としての経験を活かし、家畜の生理機能を理解し、家畜人工授精技術を習得するための講義・実習を担当している。			
科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・肉畜	必修	1	通年	195	13
使用教科書・副教材	新版「家畜飼育の基礎(阿部亮 他、農山村文化協会)」、さらによくなる子牛生産(松本大策 日本畜産振興会)、シェパードの獣医さんがおくる繁殖のちよつと役に立つお話(松本大策他 肉牛新報社)、日本飼養標準～肉用牛2008年版～(中央畜産会)、牛の削蹄(日本削蹄師会)					
授業の目的	肉用牛の特性と飼養管理技術(1年次では主に繁殖、哺乳、育成)の基本を理解し、合理的な経営管理能力を習得する。					
授業の到達目標	肉用牛管理について基礎的な知識と技術を学習し、その技術を日ごろの当番や実習で適宜活用することができる。事例研究で実践的な取り組みを見て知識・技術の理解を深めることができる。					

月日	学 習 項 目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
概論					
4/15	農場HACCPとGAP	農場HACCPとGAPの基本概念	2	講義	学科共通
4/21	家畜の役割と動向	人間生活と畜産、日本畜産の特徴と動向	2	講義	学科共通
4/28	家畜の生理・生態と飼育環境	家畜の生理・生態と飼料、飼養環境とその調節の仕方	2	講義	学科共通
5/6	家畜の生理・生態と飼育環境	家畜の繁殖と育種、家畜ふん尿の処理と有効利用	2	講義	学科共通
5/13	飼料の生産と利用	飼料作物の特徴、種類と利用	2	講義	学科共通
6/3	飼料の生産と利用	草地の維持・管理、飼料作物の調整と貯蔵	2	講義	学科共通
6/10	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(品種、飼育方式、消化・吸収、繁殖生理)	2	講義	学科共通
6/17	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(泌乳、搾乳牛・子牛・育成牛の飼育管理)	2	講義	学科共通
7/1	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(乳牛の衛生と病気、牛乳の品質と利用)	2	講義	学科共通
7/6	家畜飼育の実際(肉牛)	肉牛(品種と改良、飼育形態と施設・設備)	2	講義	学科共通
7/8	家畜飼育の実際(肉牛)	肉牛(飼料の種類と給与、肉牛の衛生と病気)	2	講義	学科共通
7/15	畜産経営と情報利用	畜産における情報の役割と種類	2	講義	学科共通
8/18	家畜飼育の実際(バイオテック)	バイオテクノロジー、動物遺伝資源の活用	2	講義	学科共通
8/26	家畜飼育の実際(鶏・豚)	養鶏、養豚、ウマ、ヤギ、メンコウ、ダチョウ	2	講義	学科共通
概論以外					
4月	肉用牛生産実態の概要 農家の肉用牛飼養概況 農場HACCP、GAP	本校の肉牛飼養概況を理解する。本校農場HACCPシステム(家畜防疫・衛生対策)およびGAPについて理解する。事例研究(牛の博物館)により牛に関する幅広い知識を学ぶ。	10	講義 事例研究	事例研究：牛の博物館5/6
5月	和牛繁殖農家の実態	和牛繁殖経営体の概要と子牛生産技術を理解する。繁殖牛のライフサイクルと管理方法を理解する。	10	講義	
6月	種雄牛選定 子牛の流通 最新肉用牛研究 削蹄の基礎 種雄牛造成	外部講師(種山畜産研究室)の講義により、種雄牛の系統や繁殖牛への交配方法を理解する。事例研究(県南畜産市場)により子牛取引について学ぶ。事例研究(家畜育種研究室)により最新の肉用牛研究について学ぶ。外部講師(削蹄師)による講習や実技により削蹄に関する基礎知識を理解する。事例研究(種山畜産研究室)により種雄牛造成と凍結精液生産の基礎を学ぶ。	42	講義 事例研究	外部講師：種山6/7 事例研究：県南市場6/9 事例研究：畜研6/11 外部講師：削蹄6/28-29 事例研究：種山6/30
7月	ICT技術の活用方法 繁殖牛の管理	ICT技術(ファームノートカラー)を活用した牛群管理技術について学ぶ。事例研究(県南市場)により子牛取引の実際について学ぶ。	4	講義	
8月	飼料給与と計算	繁殖牛、育成牛の飼料要求量と飼料計算について理解する。	4	講義	
9月	子牛の管理 農家派遣実習準備	子牛の誕生から子牛市場出荷までの流れと管理方法を理解する。農家派遣実習のねらいや派遣先の経営概要、農家派遣実習に臨む心構え等を理解する。	8	講義	
10月	冬期の飼養管理 農家派遣実習の総括	事例研究(外山畜産研究室)により寒冷地における厳冬期の飼養管理方法を学ぶ。各学生の農家派遣実習の総括をするとともに、経営科内での報告会を開催し、相互の派遣農家での体験を共有し、幅広い知識を身に付ける。	16	講義 事例研究	事例研究：外山10/5
11月	先進農家の経営管理 登録審査	繁殖の基礎知識を学ぶ。先進農家や畜産関連企業の事例研究により、肉用牛生産の課題とその解決策を理解する。事例研究(登録審査)により種牛審査について理解する。外部講師の講義により、登録審査の仕組みや育種改良を学ぶ。	32	講義 事例研究	事例研究：県外11/8-9 事例研究：県南市場11/10 外部講師：種山11/11
12月	冬期の飼養管理の実践	季節や環境の違いによる飼養管理方法の違いを学ぶ。	10	講義	
1月	冬季の子牛管理 疾病対策とワクチン	冬季間の子牛の管理と疾病予防について理解する。	10	講義	
2~3月	卒業研究の準備	各自の興味関心や問題意識等に基づき卒業研究テーマを決定し、関連する知見を学習するとともに卒業研究計画を策定する。	22	講義	
合計			196	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)					
筆記試験の得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。					
概論の評価割合：筆記試験：70%、平常点：30%(概論以外：出席状況50%、レポート50%)					
履修に当たっての留意点等					
受講に際しては、事前に教科書、参考書等に目を通しておくことが望ましい。授業は教科書に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業はテキスト及び副教材により進める。外部講師の講義は主にパワーポイントと自作プリントにより行う。牛舎や実験棟での授業、又は校外事例研究の際は事前に連絡するので確認のこと。					